

単元末練習問題一覧表（小学校 第3・4学年）

「全国学力・学習状況調査」の問題と、教科書教材の指導事項が対応した一覧表です。

単元末の練習問題などで、活用できます。

※表の見方

- (1) 見出しの「領域」「学年」「指導事項」は、『小学校学習指導要領 国語編』です。
- (2) 「過去問題」は、「全国学力・学習状況調査」です。平成24年度～平成27年度を示しています。
□囲みの問題は、熊本県の正答率が60%以下のものです。例：B1二…B問題の1の二
- (3) 「教科書教材」は、県内で採択されている教科書について示しています。

光 光村図書 東 東京書籍
③ 第3学年 ④ 第4学年

領域	学年	指導事項	過去問題				教科書教材	
			H24	H25	H26	H27		
A 話し・聞く	第3・4学年	ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。					光③「話の中心に気をつけて聞き、しつもんをしたり、かんそうを言ったりしよう」「進行を考えながら話し合おう」「しりょうから分かる、小学生のこと」 ④「調べたことを整理し、発表しよう」 東③「インタビューをしてメモを取ろう」 ④「メモの取り方をくふうして聞こう」	
		イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。					光③「話の中心に気をつけて聞き、しつもんをしたり、かんそうを言ったりしよう」「進行を考えながら話し合おう」「しりょうから分かる、小学生のこと」 ④「調べたことを整理し、発表しよう」 東③「話したいな、うれしかったこと」「町について調べてしようかいしよう」 ④「案内係になろう」「世界一美しいほくの村」「報告します、みんなの生活」	
		ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。					光③「ことばのじゅんびうんどう」「進行を考えながら話し合おう」「しりょうから分かる、小学生のこと」 ④「言葉のじゅんび運動」「調べたことを整理し、発表しよう」 東③「町について調べてしようかいしよう」 ④「報告します、みんなの生活」	
		エ 話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	A 2				光③「ことばのじゅんびうんどう」「話の中心に気をつけて聞き、しつもんをしたり、かんそうを言ったりしよう」 ④「調べたことを整理し、発表しよう」 東③「インタビューをしてメモを取ろう」 ④「メモの取り方をくふうして聞こう」「世界一美しいほくの村」	
		オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。					光③「進行を考えながら話し合おう」 ④「話し合いのしかたについて考えよう」 東③「話したいな、うれしかったこと」「グループで話し合おう」 ④「クラスで話し合おう」	
B 書く	第3・4学年	ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。					光③「ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう」「秋の楽しみ」「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」「三年生をふり返ろう」 ④「調べたことを整理して書こう」「場面の様子に着目して読み、しようかいしよう」「詩を書こう」「未来の自分に手紙を書こう」 東③「自分をしようかいしよう」「調べて書こう、わたしのレポート」「気持ちを言葉に」「わたしのベストブック」を作ろう」 ④「ある人物になったつもりで」「言葉のタイムカプセル」を残そう	
		イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。					光③「ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう」「れいをあげてせつめいしよう」「組み立てにそって、物語を書こう」 ④「調べたことを整理して書こう」「組み立てを考えて書こう」「説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう」 東③「心にのこったことを」「人物を考えて書こう」「理由が分かるように書こう」 ④「みんなで新聞を作ろう」「わたしの考えたこと」	
		ウ 書くこととすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。	B 3 四			A 4	光③「気持ちがたつたわの手紙を書こう」「れいをあげてせつめいしよう」「組み立てにそって、物語を書こう」「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」「三年生をふり返ろう」 ④「組み立てを考えて書こう」「説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう」 東③「調べて書こう、わたしのレポート」「案内の手紙を書こう」 ④「心の動きを伝えよう」「みんなで新聞を作ろう」「ことわざブック」を作ろう」「ごんぎつね」「お願いやお礼の手紙を書こう」「ゆめのロボット」を作る」「目的や形式に合わせて書こう」「木竜うるし」	
		エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	B 1 二				光③「気持ちがたつたわの手紙を書こう」 東③「案内の手紙を書こう」 ④「お願いやお礼の手紙を書こう」	
		オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。			A 3		光③「組み立てにそって、物語を書こう」「言葉について考えよう」「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」 ④「調べたことを整理して書こう」「組み立てを考えて書こう」「言葉について考えよう」「未来の自分に手紙を書こう」 東③「漢字の表す意味を考えよう」「わたしのベストブック」を作ろう」 ④「わたしの考えたこと」	
		カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。					光③「ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう」「言葉について考えよう」「詩を楽しもう」「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」 ④「心にのこったことを、自分の言葉で表そう」 ④「登場人物の人がらをとらえ、話し合おう」「読んで考えたことを話し合おう」「詩を書こう」 東③「人物を考えて書こう」 ④「ある人物になったつもりで」「言葉をつなげて」	
C 読む	第3・4学年	ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。	A 4			B 3 二	光③「どきん」「きつつきの商売」「詩を楽しもう」 ④「白いぼうし」「忘れもの／ほくは川」「初雪のふる日」 東③「すいせんのラッパ」 ④「こわれた千の楽器」「詩を読もう」 光⑤「ふるさと／あめ玉」(※五年最初の教材)	
		イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。	A 5 アイ				B 2 一 アイ	光③「言葉で遊ぼう／こまを楽しむ」「すがたをかえる大豆」「ありの行列」 ④「大きな力を出す／動いて、考えて、また動く」「アップとルーズで伝える」「ウナギのなぞを追って」 東③「『ほげんだより』を読みくらべよう」「人をつつむ形—世界の家めぐり」 ④「ヤドカリとインゲンチャク」「広告と説明書を読みくらべよう」「ゆめのロボット」を作る
		ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。	A 4				B 3 一	光③「きつつきの商売」「たのきゅう」「もうすぐ雨に」「ちいちゃんのかげおくり」「三年とうげ」「モチモチの木」 ④「白いぼうし」「ふるやのもり」「一つの花」「ごんぎつね」「プラタナスの木」「のはらうた」「初雪のふる日」 東③「ゆうすげ村の小さな旅館」「サーカスのライオン」 ④「走れ」「ごんぎつね」「木竜うるし」 光⑤「ふるさと／あめ玉」(※五年最初の教材)
		エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。						光③「言葉で遊ぼう／こまを楽しむ」「ちいちゃんのかげおくり」「すがたをかえる大豆」「ありの行列」「モチモチの木」 ④「大きな力を出す／動いて、考えて、また動く」「『読むこと』について考えよう／かげ」「ごんぎつね」「アップとルーズで伝える」「プラタナスの木」「のはらうた」「ウナギのなぞを追って」 東③「自然のかくし絵」「ゆうすげ村の小さな旅館」「もうどう犬の訓練」「はりねずみと金貨」 ④「くらしの中の和と洋」「世界一美しいほくの村」
		オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。				B 3 二		光③「言葉で遊ぼう／こまを楽しむ」「もうすぐ雨に」「わたしと小鳥とすずと／山のてっぺん」「ちいちゃんのかげおくり」「三年とうげ」「ありの行列」「モチモチの木」 ④「白いぼうし」「大きな力を出す／動いて、考えて、また動く」「一つの花」「忘れもの／ほくは川」「ごんぎつね」「プラタナスの木」「ウナギのなぞを追って」 東③「サーカスのライオン」「人をつつむ形—世界の家めぐり」「モチモチの木」 ④「走れ」「ごんぎつね」「ゆめのロボット」を作る」「木竜うるし」
		カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。						光③「本は友だち」 ④「一つの花」「『読むこと』について考えよう／かげ」 東③「本は友だち」「はりねずみと金貨」 ④「本は友達」「世界一美しいほくの村」

【小学校 第3・4学年】

領域	学年	指導事項	過去問題				教科書教材
			H24	H25	H26	H27	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第3・4学年	(1)ア(ア) 易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。		A6 アイ			光③「俳句を楽しもう」 ④「声に出して楽しもう」「短歌・俳句に親しもう(一)」「短歌・俳句に親しもう(二)」 東③「俳句に親しもう」 ④「『百人一首』を声に出して読んでみよう」
		(1)ア(イ) 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	A8	A2 一二	A2 一二		光③「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」 ④「慣用句」 東③「慣用句を使おう」「わらい語を楽しもう」 ④「『ことわざブック』を作ろう」
		(1)イ(ア) 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。					光③「本は友だち」「進行を考えながら話し合おう」「本で調べて、ほうこくする文章を書こう」 ④「春のうた」「ウナギのなぞを追って」 東③「案内の手紙を書こう」「いろいろなつたえ方を知ろう」 ④「みんなで新聞を作ろう」「詩を読もう」「わたしの考えたこと」
		(1)イ(イ) 漢字と仮名を用いた表記などに関心をもつこと。					光③「漢字の意味」 ④「まちがえやすい漢字」 東④「漢字を使って読みやすい文を書こう」
		(1)イ(ウ) 送り仮名に注意して書き、また、活用についての意識をもつこと。					光③「漢字の音と訓」「カンジーはかせの音訓かるた」 東④「漢字の読み方に気をつけよう」
		(1)イ(エ) 句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くこと。					光③「三年生をふり返ろう」 ④「説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう」「未来の自分に手紙を書こう」 東④「ある人物になったつもりで」
		(1)イ(オ) 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。				A7	光③「春の楽しみ」「夏の楽しみ」「もうすぐ雨に」「秋の楽しみ」「冬の楽しみ」 ④「春の風景」「いろいろな意味をもつ言葉」「夏の風景」「秋の風景」「冬の風景」「初雪のふる日」 東③「すいせんのラック」「サーカスのライオン」 ④「心の動きを伝えよう」「ごんぎつね」
		(1)イ(カ) 表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること。			A8		光③「国語辞典のつかい方」 ④「漢字辞典のつかい方」 東③「国語じてんのつかい方を知ろう」 ④「漢字辞典のつかい方を知ろう」
		(1)イ(キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。				A2二	光③「修飾語」「漢字の広場」 ④「白いぼうし」 東③「自然のかくし絵」「ようすをくわしく表そう」 ④「ヤドカリとインゲンチャク」「広告と説明書を読みくらべよう」「文の組み立てを考えよう」
		(1)イ(ク) 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと。		A3二 (1)(2) B2一			光③「ありの行列」「しりょうから分かる、小学生のこと」 ④「言葉について考えよう」 東③「しりょうから分かったことを、すじ道を立てて話そう」「『こそあど言葉』を使い分けよう」「もうどう犬の訓練」 ④「メモの取り方をくふうして聞こう」「文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう」
		(1)ウ(ア) 第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。					光③「ローマ字」「コンピュータのローマ字入力」 東③「ローマ字」 ④「ローマ字」
		(1)ウ(イ) 第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。					光③「漢字の音と訓」「漢字の広場」「カンジーはかせの音訓かるた」 ④「カンジーはかせの漢字しりとり」「まちがえやすい漢字」「漢字の広場」 東③「漢字の表す意味を考えよう」 ④「同じ読み方の漢字に気をつけよう」
(1)ウ(ウ) 漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。					光③「へんとつくり」 ④「漢字の組み立て」 東③「漢字の組み立てと意味を考えよう」 ④「漢字辞典のつかい方を知ろう」		